

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	喜茂別町	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和3年度)					
2. 取組振興山村名	喜茂別町	令和元年度	令和3年度	令和3年4月6日～令和4年3月31日					
3. 事業費(うち国費)	9, 837, 000円(9, 837, 000円)								
4. 第三者氏名				教育機関 関係者	産業界 関係者	マスコミ 関係者	農林水産業 関係者	消費者	その他
5. 事業評価									
総合評価									
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) 令和3年度の取組みは概ね評価でき、交付金を活用して開発した商品開発も評価できる。 事業終了後の自走化に向けた販路の開拓、人材育成を含む組織体の確立に取り組み、山村地域の活性化に向けて引き続き、努力を期待する。 ①から③の実施結果を踏まえて、A評価とする。							
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象						
① 取組状況									
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) 新商品であるじゃがちょこっとなについては、昨年度の第29回グルメ&ダイニングスタイルショー春 2021での商談会を活用した販路開拓や北海道が設置しているどさんこプラザのテスト販売を活用し、地域外での販売重点を置いた取り組みは評価できる。							
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象						
② 事業実績									
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) 令和2年度に開発した商品(じゃがちょこっとな)のシリーズ化より、商品開発数の指標に寄与した。一方で、スーパ関連のコロナ禍における対面販売の低迷により、販売額指標が目標に達しなかった。							
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象						
③ 実施体制									
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) 事業当初から町内の経済団体が構成メンバーに加わったことや町外のコンサルタントのサポートを受けるなど、既存商品のブラッシュアップや新商品開発がスムーズに行われた。本事業以外にも、個別に商品開発に取り組む事業者が現れるなど、地域内で「商品開発に取り組みたい」という機運が高まっていることは歓迎すべきことである。事業完了後も、地域資源を活用した外部からの収入を得る手段に対するノウハウを取り入れて、更なる山村地域の活性化の取組みを期待する。							
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)						
④ その他									

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。